

チャイコフスキー没後130年記念特別公演

# チャイコフスキー 大協奏曲の響宴

— 130年目の命日に捧ぐ —

〈チャイコフスキー〉

ロココの主題による変奏曲 イ長調 Op.33

パブロ・フェランデス (チェロ)

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.35

ヤン・ムラチェク (ヴァイオリン) [チェコ・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター]

ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 Op.23

1879年版

チャイコフスキーが所有していたスコアに基づく

キリル・ゲルシュタイン (ピアノ)

Tchaikovsky:

Variations on a Rococo Theme in A Major, Op.33

Pablo Ferrandez, (Cello)

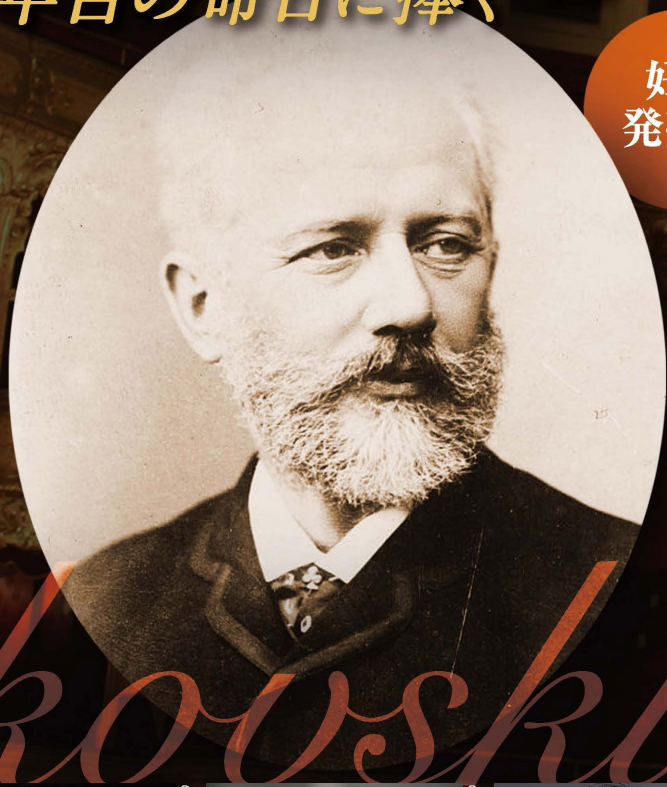
Violin Concerto in D Major, Op.35

Jan Mracek (Violin)

Piano Concerto in B-flat Minor, Op.23

Kirill Gerstein (Piano)

好評  
発売中



名演奏家たちが  
一堂に会して  
描き出す  
作曲家の肖像



ヤン・ムラチェク  
(ヴァイオリン)

[チェコ・フィルハーモニー管弦楽団  
コンサートマスター]



パブロ・フェランデス  
(チェロ)



キリル・ゲルシュタイン  
(ピアノ)



高関 健  
(指揮)

2023.

11/6 (月) 19:00開演  
18:20開場 (終演予定21:10)

サントリーホール

東京外口蒲池山王駅13番出口徒歩10分  
東京外口六本木一丁目駅3番出口徒歩5分

7:00p.m., Monday, November 6, 2023 at Suntory Hall

SY12,000 AY10,000 BY8,000 (完売) CY(完売) ※料金には消費税10%が含まれております。

[お申込み] ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 [www.japanarts.co.jp](http://www.japanarts.co.jp)

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 [suntory.jp/HALL](http://suntory.jp/HALL)

◎ チケットぴあ [t.pia.jp](http://t.pia.jp) [Pコード:251-259] ◎ イープラス [eplus.jp](http://eplus.jp)

主催: ジャパン・アーツ



東京フィルハーモニー交響楽団

# 作曲家の命日に聴く3大協奏曲!

格調高い交響曲、愛らしいソレエ音楽、旋律とリズムの美しい調和によって、  
何度聴いてもその魅力に引き込まれる宝石のような作品の数々を残してくれた作曲家、チャイコフスキー。

2023年11月6日はそのチャイコフスキーの130年目の命日にあたります。

このチャイコフスキーの特別な日に、彼の生み出した華麗な3曲の協奏曲をお贈りします。

スペイン期待のチェロの俊英、パブロ・フェランデスが佳品「ロココの主題による変奏曲」を、

名門チェコ・フィルの次代を牽引する若きコンサートマスター、ヤン・ムラチェクが旋律美の極致ともいべき「ヴァイオリン協奏曲」を、

そして世界がその実力を認める“新世紀のレジェンド”、キリル・ゲルシュタインが「ピアノ協奏曲第1番(1879年版)」を、

3人の世界的名手たちが一堂に会し、3つの傑作協奏曲が一挙に上演されるコンサートが実現します!

しかも今回のピアノ協奏曲第1番は、1879年に改訂されたチャイコフスキー所有の楽譜に基づいての演奏となり、

この版で聴けるのは、めったにない、非常に珍しい機会であると言えるでしょう。

慣れ親しんだこの曲の、新たな魅力を発見する機会となるであろう今回の演奏を、どうかお聴き逃しなく!

共演は高関健指揮東京フィルハーモニー交響楽団。

晩秋にチャイコフスキーのロマンティズムに酔いしれる「熱狂の3大協奏曲の饗宴」に、ぜひご期待ください!



©ICON STUDIO

## パブロ・フェランデス(チェロ)

Pablo Fernandez (Cello)

第15回チャイコフスキー国際コンクールの入賞者のパブロ・フェランデスは、「新たな天才チェリスト」(フィガロ紙)と称賛されている。驚異的なチェリストとして、同世代の中でもっとも需要の高い器楽奏者の一人となっている。近年共演した主なオーケストラには、チェコ・フィル、バイエルン放送響、イスラエル・フィルなどがある。頻繁に、ヴェルビエ、ザルツブルクなど国際的な音楽祭にも出演。2023/24シーズンには、ボストン響、クリーヴランド管、トーンハレ管とも共演予定。

使用楽器は、1689年製ストラディヴァリウス「Archinto」。



©Yoshika Rose

## ヤン・ムラチェク(ヴァイオリン)

Jan Mracek (Violin)

2016年に指揮者イルジー・ビエロフラーヴェクの招待により、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスター及びソロ・ヴァイオリン奏者のポストに就任。2022/23シーズンにはベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の客演コンサートマスターを務めた。指揮者から高い評価を得ており、セミヨン・ビシュコフ、ヤクブ・フルジャ、フランツ・ウェルザー＝メストなど、またプラハ交響楽団、バンベルク交響楽団、セント・ルイス交響楽団など世界有数のオーケストラと共演している。フィドゥラ財団より貸与された1770年製N. ガリアーノのヴァイオリンを使用。



©Marek Burgiers

## キリル・ゲルシュタイン(ピアノ)

Kirill Gerstein (Piano)

ロシア生まれ。14歳で渡米し史上最年少でパーカー音楽大学に入学。これまでにベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ボストン響、ニューヨーク・フィル等、数々の著名な交響楽団と共演。ウィーンのコンツェルトハウス、ウィーン楽友協会など世界各地の権威あるホールでリサイタルを行う。ドイツ・グラモフォンからリリースされたアデスピアノ協奏曲及びミリオス・クラシックスでの「アデス作品集」は、グラモフォン賞を受賞し、グラミー賞にノミネートされた。エネルギー豊か音楽性が、彼をトップの演奏家たらしめている。



©Masahiko Sano

## 高関健(指揮)

Ken Takaseki (Conductor)

国内主要オーケストラで重職を歴任し、現在東京シティ・フィル常任指揮者、仙台フィル常任指揮者、富士山静岡交響楽団首席指揮者。サントペテルブルグ・フィル定期演奏会など海外への客演も多く、世界的ソリストや作曲家、特にマルタ・アルゲリッチからは3回の共演を通じて絶大な信頼を得る。緻密なスコア分析からスケールの大きな音楽を作り出す名匠。新国立劇場での團伊玖磨「夕鶴」、ストラヴィンスキー「夜鳴きうぐいす」、チャイコフスキー「イオランタ」、2019年にはウラジオストクとサントペテルブルグでも「夕鶴」を指揮するなど、オペラでも高評価を得る。第50回サントリー音楽賞受賞。



## 東京フィルハーモニー交響楽団

Tokyo Philharmonic Orchestra

1911年創立、日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督ジョン・ミンヨン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイール・プレトニョフ。自主公演の他、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏で高水準の演奏活動を展開。海外公演も積極的に行い、高い注目を集める。1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。<https://www.tpo.or.jp/>

### 〈特別割引チケットのお知らせ〉(ジャパン・アーツびあホールセンター及びジャパン・アーツびあオンラインチケットで受付)

学生券:各ランクの半額、座席の指定が可能です。9月2日(土)10:00より受付を開始いたします。

※社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場下さい。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂く場合がございます。)

シニア・チケット=公演当日65歳以上の方はS席11,000円、A席9,000円(税込)にてお求めいただけます。

車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツびあホールセンターで受付)

〈次のことあらかじめご承知の上、チケットをお求めください〉①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合も再発行できません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。